

2024年度 環境経営レポート

対象期間:2024.2.1~2025.1.31



株式会社 カネソ

2025年(令和7年)2月28日

目次

1、会社概要	-----	1
2、環境方針	-----	2
3、組織体制	-----	3
4、環境負荷の状況	-----	4
5、環境活動目標及び計画（具体策）	-----	5
6、環境活動目標の実績及び結果・評価		7
7、代表者による全体の評価と見直し記録		8
8、環境活動の実施状況	-----	9
9、環境関連法規への違反、訴訟等の有無		10

1、会社概要

【事業所名】

株式会社 カネソ
代表取締役 竹内 正明

【所在地】

本社	富山県射水市流通センター青井谷1-2-2	TEL 0766-56-6633
小杉営業所	富山県射水市流通センター青井谷1-2-2	TEL 0766-56-1250
高岡展示場	富山県高岡市六家44	TEL 0766-31-3347
滑川営業所	富山県滑川市北野152	TEL 076-475-1145

【事業内容】

卸売業・小売業・建設業
建設業（管工事業・鋼構造物工事業・建築工事業・電気工事業）
二級建築士事務所

【事業規模】

創業 昭和27年3月
設立 昭和30年2月5日
資本金 1,000万円
社員数 10名
売上高 2.66億円
(令和7年1月期)

【EA21認証・登録範囲】

全社（認証・登録日：H22.3.31 番号：0004831）

【環境管理責任者】

(正) 竹内 康浩 (取締役)

【環境関連連絡先】

〒939-0321 富山県射水市流通センター青井谷1-2-2
TEL 0766-56-6633 FAX 0766-56-4777
E-mail: soumu@e-kaneso.co.jp

【延べ床面積】

本社・小杉営業所：2838.6㎡ 高岡展示場：400.94㎡
滑川営業所：649.58㎡

2、環境経営方針

株式会社 カネソ

環境経営方針

基本理念

快適な生活空間づくりをご提案することを通して、環境との調和を目指し
環境保全を実践し、顧客に満足していただき、顧客と共に栄えて、地域社会の発展繁栄に
貢献します。

基本方針

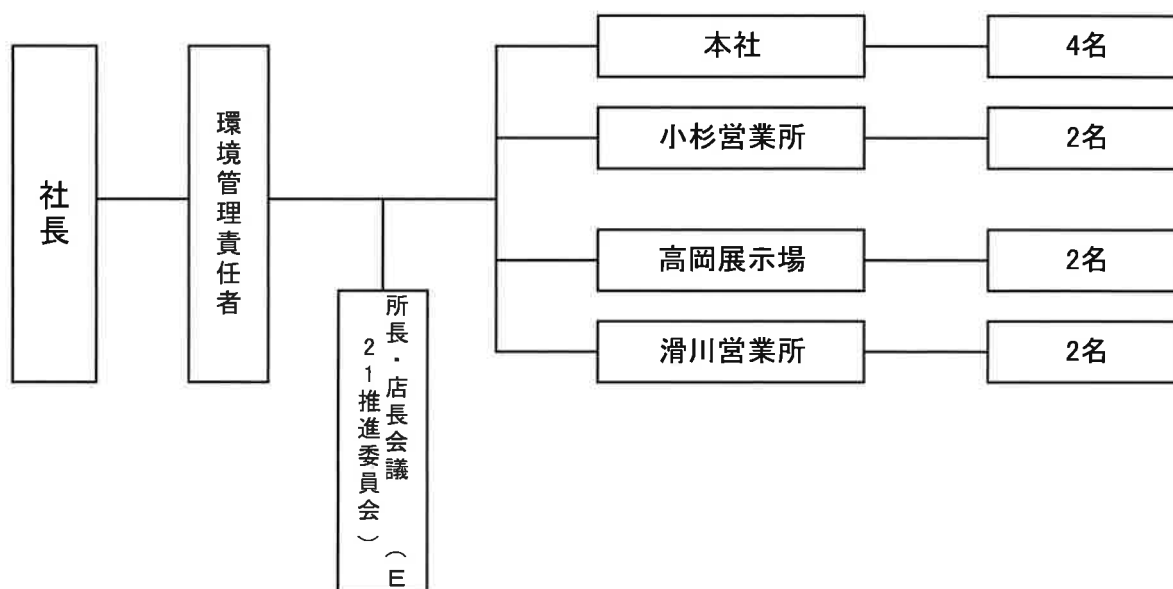
- 1、 地球にやさしい企業
エコアクション21の認証・登録を受け、地球に優しい企業を目指し、継続的に改善
します。
- 2、 省資源、省エネの推進の為、次のことに重点的に取組めます。
 - ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物の3R（減量、再利用、再生利用）の推進
 - ③ 水資源の節約
 - ④ 環境に配慮した材料及び省エネ商品提案の推進
- 3、 法規制の遵守
法規制及び業界との取り決め、地域との協定を遵守し、環境汚染の防止や環境保全の
継続的改善を図ります。
- 4、 社員の環境教育の推進
環境に対する正しい知識や豊かな感性を醸成する為、社内研修会を実施すると共に
社外で行われる環境教育に積極的に参加します。
- 5、 環境における地域社会の貢献
毎月、1日は周辺道路の清掃、草むしりなどの社会活動を行い、地域社会に貢献します。
- 6、 環境方針の徹底
この環境方針は全社員に周知徹底すると共に社内外に公表します。

2025年(令和7年)2月28日

株式会社 カネソ
代表取締役 竹内 正明

3、組織体制

株式会社 カネソ エコアクション21組織体制表



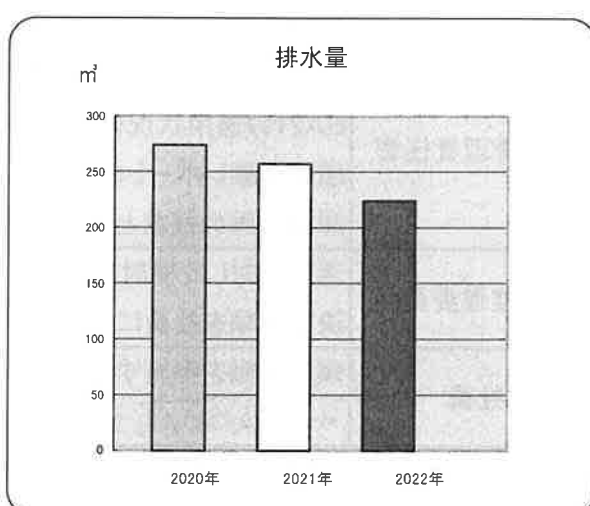
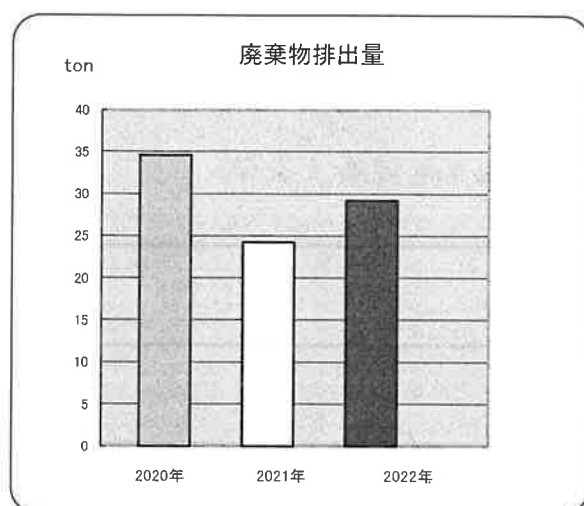
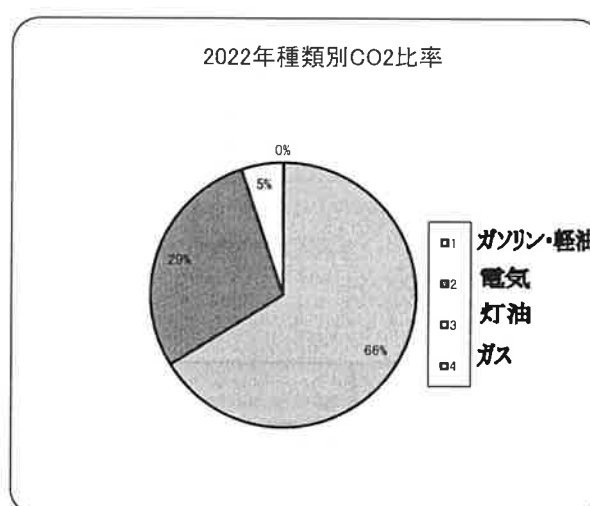
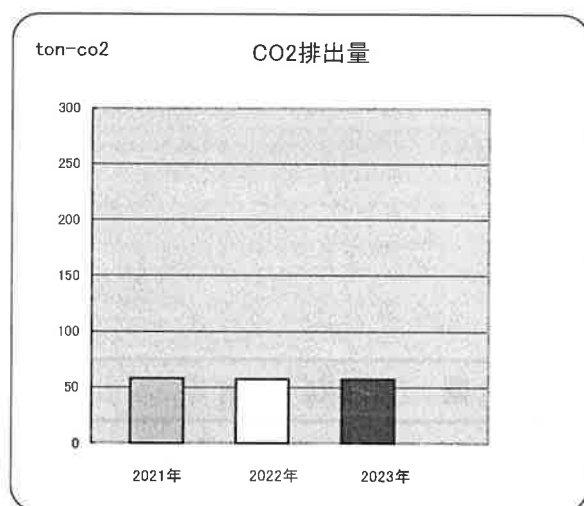
責 任	役割・責任・権限
社長	環境方針を策定する 環境管理責任者を選定する 環境目標・環境経営計画・環境経営レポートの承認 EA21の全体的な取り組み状況进行评估し、見直し、必要な指示を行う。 代表者による全体の評価を見直して実施 環境保全に関する経営資源の提供
環境管理責任者	EA21活動の構築、実施、管理を行う EA21の運用状況を代表者へ報告する 環境活動レポートの作成、環境活動実施計画の承認 環境計画の提言と進捗状況の管理
E21推進委員会	活動に対して検討する 決定事項を社員に指示管理する
社員	自主的・積極的に環境活動を実施する

4、環境負荷の状況

①過去3年間の環境負荷(CO₂、廃棄物、排水)の状況

	2021年	2022年	2023年
CO ₂ 総排出量 (ton-CO ₂)	58.01	57.39	57.18
廃棄物排出量 (ton)	34.55	24.19	29.22
排水量 (m ³)	274	257	224

②環境負荷の推移グラフ((CO₂、CO₂の種類別投入比率、廃棄物、排水)



※産廃は工事件数、内容によって数字変動が大きい

5-1、環境経営目標及び計画(具体策)

2024年度～2026年度

	目標	計画(具体策)
エネルギーの消費	○電力使用量削減 目標:前年度以下	・冷房は30℃に設定する。(フィルターの清掃、定期的に) ・見やすい温度湿度計の設置 ・こまめな消灯、不要時の消灯(休憩時、トイレ、倉庫) ・待機電力の削減(差し込みを抜く) ・クールビズ(夏季のノーネクタイ) ・省エネナビを活用した使用電力の把握及び見直し ・照明灯のLED化
	○営業車、配送車の燃料消費量削減 ※実績把握にとどめる	・車輛点検簿に給油時の距離を記録し燃費(km/l)を割り出す(月単位) ・営業地区の巡回を見直す(端から端へと横断営業をしない) ・急発進、急加速、急ブレーキなど急の付く運転の禁止 ・無駄な荷物を載せない(給油は満タンにしない70%程度にする) ・速度に応じた、変速位置(低速ギアで長時間運転をしない) ・速度はできるだけ一定の速度で走る
	○営業車、配送車の燃費向上 目標:前年度以上	・駐車時はエンジンを止める(アイドリングストップ) ・タイヤの空気圧はこまめに点検する ・エアコンは控えぎみにする ・冬季の暖気運転は1分程度とする(それ以上は燃料の無駄) ・車輛を小型化する又は省エネ車化する ・車両管理表に今日1日エコ運転をしたかどうかをチェックする欄を設ける。
	○化石燃料使用料削減 ガス・灯油 目標:前年度以下	・湯沸かし器の設定温度は低めにし水量も少なめに設定する ・湯沸かし器はこまめに入り切りをする ・ガスコンロにやかんをかけその場を離れる場合はタイマーを使い無駄な沸かしすぎの無いようにする ・ウォームビズ(重ね着や膝かけの活用) ・暖房は18℃に設定する
水の消費(排水)漏水	○水の使用料削減 目標:過去3年間の平均値以下	・台所の食器は洗い桶にためてまとめ洗いをする(流し洗いはしない) ・台所、手洗いの蛇口は開きすぎない ・電解還元整水機の排水を有効利用する ・水を出しっぱなしにしない(自動車の洗車時も同じ)
	○排水量の削減	・トイレの水洗は大小のレバーを使い分ける ・排水量は上水道の水量計を元に削減する
	○漏水の検査	・毎月初日の朝に量水計により検査する
廃棄物の排出物	○リサイクル率向上	・きめの細かいリサイクルにより更にリサイクル率90%以上
	○一般廃棄物削減 目標:前年度以下 その1 その2	・コピー用紙の裏紙使用(投入量にて計量する) ・事業系廃棄物の分別と計量(分別ボックスを利用) ・可燃ゴミ プラスチック スチール缶
	○工事現場の廃棄物削減する	・工事現場における廃棄物の削減及び有効利用 ・マニフェストにより徹底管理 ※産廃は工事件数、内容によって数字変動が大きい為、実績把握にとどめる。
環境作り	○地域の環境に貢献する	・毎月初日に全社員にて会社周辺の除草や清掃をする(雨天順延) AM8:00～8:25 (但し12～3月まで冬季期間休み)
製品の販売	○省エネ製品の販売 目標:前年度以上	・ソーラー発電システム ・エコキュート ・IHクッキングヒーター ・蓄電池

※化学物質の使用はありません。

5-2、環境経営目標及び計画(評価・コメント)

2024年度

	目標	評価	コメント
エネルギーの消費	○電力使用量削減 目標:前年度値以下	○	エアコン等の設定温度の厳守。 エアコンを入れ替え、以前のものより省エネタイプのものであるが、猛暑が影響し、思うように削減できなかった。 クルービズ、ウォームビズは、意識して行っている。
	○営業車、配送車の燃料消費量削減 ※実績把握にとどめる	—	毎日の車両管理の徹底。 アイドリング・急発進・急ブレーキをしないよう意識の徹底。 エアコンの使用を意識する。
	○営業車、配送車の燃費向上 目標:前年度以上	ガソリン × 軽油 ×	車両管理表チェックを徹底し、今後も意識しながら取り組んでいきたい。
	○化石燃料使用料削減 ガス・灯油 目標:過去3年間の平均値以下	○	湯沸かし器の設定を低めにし、必要に応じてこまめに入り切りをしながらか使用できていたと思う。 ストーブは必要に応じて、使用できていた。
水の消費(排水)漏水	○水の使用料削減 目標:過去3年間の平均値以下	○	まとめ洗いや水圧を意識して使用している。
	○漏水の検査	○	毎月実施されている。
廃棄物の排出物	○リサイクル率向上		裏紙の利用。 産業廃棄物については、分別に努め、管理している。
	○一般廃棄物削減 目標:前年度以下 紙の削減 一般廃棄物の削減	○ ×	裏紙の利用が徹底できていると思う。 ゴミの分別など出来ていたが、もっと削減することを意識しなければならない。
	○工事現場の廃棄物削減する	—	工事屋及びお客様にも徹底していただいた。 削減を心掛ける。
環境作りの	○地域の環境に貢献する	○	全員で毎月1日に周りの清掃活動を実施してくれた。
製品の販売	○省エネ製品の販売 目標:前年度以上	×	蓄電池とエコキュートに関しては、昨年実績を上回った。 PRをしっかりとし、更なる販売に努めたい。

○:達成 ×:未達成

6、環境活動目標の実績及び結果・評価

・2024年度の環境活動目標に対する実績

	2024年度目標	2024年度実績	結果	評価	中期目標		
					2024年度	2025年度	2026年度
エネルギー の消費	・電力量の削減 25335.0kWh以下 (前年実績排出量以下)	22033.0	15.0% DOWN	○	25335.0kWh 以下	前年度比以 下	前年度比以 下
	・営業車、配送車の燃料消費 量の削減※数字の変動が人 数や売上に大きく影響するの で実績把握に留める。	ガソリン 11086.29L 軽油 380.11L	ガソリン 前年比 27.4%減 軽油 前年比 49.0%減	-	-	-	-
	・営業車、配送 車の燃費向上 (前年度以上)	ガソリン 11.06km/ℓ	10.09km/ℓ	8.8%悪化	×	ガソリン 11.06km/ℓ以 上	前年度以上
		軽油 6.37km/ℓ	5.57km/ℓ	12.6%悪化	×	軽油 6.37km/ℓ以 上	前年度以上
	・化石燃料の削減						
	・灯油の削減 981.0L以下	828.0L	15.6%削減	○	981.0L以下	前年度比以下	前年度比以下
	・ガスの削減 23.46kg以下	21.1kg	10.0%削減	○	23.46kg以下	前年度比以下	前年度比以下
(排水) 水 の消費	・CO ₂ 総排出量 (実績把握)	CO ₂ 総排出量 40.45(t-CO ₂)	12.4%削減	-	-	-	-
	・水を削減 207.33m ³ 以下 ・排水量の削減	179m ³	13.7%削減	○	207.33m ³ 以下	過去3年間の平均値以下	過去3年間の平均値以下
廃棄物 の排出物	・リサイクル率向上						
	一般廃棄物 90%以上	80.80%	10.2%悪化	×	90%以上	90%以上	90%以上
	産業廃棄物 90%以上	90.10%	0.1%達成	○	90%以上	90%以上	90%以上
	・一般廃棄物削減 紙の削減(前年度以下) 175.79kg	133.36kg	24.1%削減	○	175.79kg以下	前年度以下	前年度以下
	一般廃棄物の削減(前年度以下) 178.26kg	190.85kg	7%悪化	×	178.26kg以下	前年度以下	前年度以下
	・工事現場の廃棄物 注1 (実績把握)	24.0t	16.9%削減	-	-	-	-
環境 作 り	・地域の環境に貢献する 4～12月までの8回/年 計画	毎月初め営業日に会社周辺の草 むしり 8回実施/年	完全実施	○	8回	8回	8回
製品 の販 売	・省エネ製品の販売 80ポイント (1商品につき1P)	34ポイント	-46ポイント	×	80ポイント	営業目標数	営業目標数

○…目標達成 ×…目標未達成 —…対象外

注1.工事現場の廃棄物…産廃は工事件数・内容によって数字変動が大きい為、実績把握にとどめる。

注2.電力のCO₂排出係数は2022年度の0.499を使用します。(kg-CO₂/kWh)

7、代表者による全体の評価と見直し記録

(適切性、妥当性、有効性の確認)

令和7年2月28日

見直しに必要な情報	
環境管理責任者の報告	環境管理責任者のコメント・提案
[取組み状況の評価結果] ☆ 当社に関係する法規への違反はなく周辺の環境へ大きな影響を与えるトラブルや事故の発生もなし。 ☆ EA21に取り組み始めて15年が過ぎ、各社員の取り組みへの意識は次第に強くなってきていると思います。全社員等に取り組むことの意義を説明し、環境への配慮を心がけたい。 ☆ 引き続き、毎月の会議で環境活動計画と記録簿を各営業所に渡すことで、部門担当及び所員が目標をもっと意識するようにさせました。	[環境方針] EA21に取り組む目的や意義をもう一度考え、毎月の結果を全社員に確認してもらい、意識して活動に取り組むようにする。 現状のままの方針で、更に省エネ商品提案の推進を強化する。
[目標・環境活動計画の達成状況] ・ 電力の削減…○ ・ 燃費の向上…ガソリン×、軽油× ・ ガスの削減…○ ・ 灯油の削減…○ ・ CO2の総排出量の削減…○ ・ 排水量の削減…○ ・ 漏水の検査…完全実施 ・ 一般廃棄物(その1)の削減…○ ・ 一般廃棄物(その2)の削減…× ・ 会社周辺の草むしり…○ ・ 省エネ製品の販売…×	[目標・環境活動計画] その年の気候によって、目標に対する実績は大きく違ってきます。その為、過去3年間の平均値を目標にしていましたが、環境活動実績の表記にバラツキがあるので、今年度から電力使用量、社用車燃費は前年度実績を、化学燃料、水の使用量は、過去三年間の平均値を目標として取り組んでいる。
[周囲の変化状況] 太陽光の受注状況が厳しくなっている。	[実施体制] 令和6年3月末で小松営業所を閉鎖しました。
取組み評価及び変更の必要性の有無・指示事項	
(代表者)	
(環境経営方針) 変更の必要性(有・☒) 燃料費、ガソリン代を筆頭に大幅な値上げになり、更なる環境に対する意識を徹底していきたい。 メーカーチラシの活用をする。 また、昨年同様に社内間は、スキャンで送信する。所店長は、ライングループで発信するなど、工夫する。	
(目標・活動計画) 変更の必要性(☒)・無 今年度より省エネの基準が厳しくなり、省エネ商品を積極的に拡販していきたい。 ソーラー、蓄電池を積極的に販売するように努めていきたい。 廃棄物のリサイクル率90%以上を目標とした。	
(実施体制) 変更の必要性(有・☒)	